品質・環境報告書

２０２４

中京化成工業株式会社

活動レポート(品質・環境)　- ２０２４ -

中京化成工業㈱は、１９９９年１１月２６日にＩＳＯ９００１の認証取得に続き、
２００４年６月１８日にＩＳＯ１４００１の認証を取得しました。
継続運用している中で２０１５年版改訂にも早期に対応し、２０１６年にＩＳＯ９００１を２０１７年にＩＳＯ１４００１の移行を完了しております。２０１９年より品質と環境マネジメントシステムの統合を進め、２０２２年は当社の統合度合いはセカンドステージと評価していただきました。
更なるステージへステップアップを目指し、２０２４年は品質・環境の両マネジメントシステムの確実な運用と効率化を推進しております。

品質･環境方針／品質･環境目標

品質・環境方針
当社は、品質・環境マネジメントシステムの最上位の「基本方針」に当社の取り組む決意と姿勢を表明すると同時に、より具体的に、かつＩＳＯ９００１、ＩＳＯ１４００１規格に適合した「品質・環境方針」をまとめて制定しております。

「品質・環境方針」　２０１６年６月制定

品質基本方針
①　我社の製品は常に優秀である。
②　我社は製品の品質で勝負する。

環境基本方針
①　我社は自然と共生することに最大の関心を払う。
②　我社は環境配慮型製品の開発を進める。

品質・環境方針
１．当社の各事業活動、製品及びサービスを踏まえた品質・環境マネジメントシステムを構築します。また、蓄積された潤滑理論をベースに自動車関連、グリース関連、工業用機械関連、金属加工関連、離型・剥離剤関連、洗浄剤関連などの分野で顧客と地域社会に貢献します。
２．変化する諸条件及び情報を反映した品質・環境目標を事業年度毎に設定し、運用し、定期的に見直すことにより、品質・環境マネジメントシステムの有効性の継続的改善に努めます。
３．環境法規、条例、規制や当社が合意したその他の要求事項を順守します。
４．顧客満足の向上、環境負荷の低減と汚染の予防及び環境保護に努めます。
５．全従業員に教育訓練と啓蒙活動を実施すると共に、ビジネスパートナーに対しても理解を求め協力して運用します。

品質・環境マネジメントシステムの適用範囲
本品質・環境マネジメントシステムは「取り組みの計画策定シート」の記載内容を考慮し、その適用範囲は各種潤滑油、金属加工油、グリース、不凍液、離型剤などの製品の設計、開発、製造、引渡しにわたる品質・環境に関わる全ての業務・サービスとします。
品質・環境に関するサイトは本社・工場（中京化成工業株式会社　愛知県刈谷市今岡町西吹戸１０番地１）のみとします。

この方針及び適用範囲は、文書化し広く一般に開示します。

２０１６．６．１

中京化成工業株式会社
代表取締役社長
廣野　拓

２０２４年度 品質・環境目標

「品質・環境方針」をベースに、当社の活動・製品・サービスから特定された「著しい環境側面」、法的及びその他の要求事項、当社を取り巻く内外の課題、更に利害関係者のニーズと期待より、「リスクおよび機会」を特定しております。さらにこれを考慮して各年度に「全社目標」、「品質・環境目標」を決めて対応し、その施策の実現に取り組んでおります。

全社目標（品質）
①顧客重視
②品質（Ｑ、Ｃ、Ｄ）管理の向上
③供給者との互恵関係の強化
④予防処置

全社目標（環境）
①環境配慮型製品の開発と販売促進
②資源・エネルギー・廃棄物の削減
③法規制及び組織が同意するその他の要求事項の順守
④予防処置

部　門		品質・環境目標	
		内　　容	目標値
営業部 潤滑油グループ		顧客の要望している環境配慮型製品の販売 （①エンジンオイル：省燃費エンジンオイル ②鍛造油：油煙対策油・汚れ対策油・各種化学物質非含有油・再生油・ボンデフリープレス油・塩素フリープレス油）	年間売上 19,500 万円
営業部 化成品グループ		顧客の要望している環境配慮型製品の販売 （水溶性離型剤（ラッシュコート）・水溶性エアゾール）	年間売上 6,000 万円
業務購買部		翌日製造品の確定　１５時	100%
		長期在庫製品の削減	前年比　50%削減
製造部		不良品流出 0 件【製造部起因】	0 件
技術研究所	潤滑油グループ	環境配慮型　新規登録品の売上向上	12 件　1,200 万円
	化成品グループ	環境配慮型　新規登録品の売上向上	10 件　1,000 万円
	合計	環境配慮型　新規登録品の売上向上	22 件　2,200 万円
品質保証部		調整件数の削減【製造部起因以外】	15 件
		電気使用量の削減	2023 年度以下
総務部		マニュアル化の有効性の確認	5 件

２０２４年度 品質・環境目標＆実績

各関係部門において「品質・環境目標」を設定し、その達成に向けて取り組みました。仔細は次頁の通り。

	部　門		環境目的	目標	実績	評価
１．増 業績の向上	営業部 潤滑油グループ		顧客の要望している環境配慮型製品の販売	年間 19,500 万円	21,381 万円	\(^o^)/
	営業部 化成品グループ		顧客の要望している環境配慮型製品の販売	年間 6,000 万円	4,459 万円	m(_ _)m
	技術研究所	潤滑油グループ	環境配慮型　新規登録品の売上向上	12 件　1,200 万円	2,062 万円	\(^o^)/
		化成品グループ	環境配慮型　新規登録品の売上向上	10 件　1,000 万円	1,185 万円	\(^o^)/
		合計	環境配慮型　新規登録品の売上向上	22 件　2,200 万円	3,247 万円	\(^o^)/
	総務部		マニュアル化の有効性の確認	5 件	5 件	(^_^)
２．減 不具合の削減	業務購買部		翌日製造品の確定　１５時	100%	99.2%	(^_^)
			長期在庫製品の削減	前年比　50%削減	25.1%	m(_ _)m
	製造部		不良品流出 0 件【製造部起因】	0 件	0 件	(^_^)
	品質保証部		調整件数削減【製造部起因以外】	年間 15 件以下	29 件	m(_ _)m
	品質保証部		電気使用量の削減	2023 年度実績以下 (37.8khW/LOT)	44.9kWh/LOT	m(_ _)m

評価の凡例

\(^o^)/ ：目標値を１０%以上達成しました！
(^_^) ：ほぼ目標値
m(_ _)m：目標値の９０%以下に終わりました

各部のコメント

テーマ	部門	達成率（目標対比）	コメント
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業部 潤滑油グループ	１０９．６％	昨年度、同様の内容で目標未達となり、再チャレンジとして本年も昨年同額にて臨んだ結果、目標を達成する事が出来ました。省燃費ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙが躍進、合わせて年初より自動車部品業界は不正問題や北陸地震によるサプライチェーンの混乱により低迷したなかでも緩やかに回復し地道に案件を獲得出来た事が達成要因と考えます。
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業部 化成品グループ	７４．３％	昨年度実績に対して大幅な落ち込みとなり申し訳ございませんでした。フッ素系離型剤が原料廃止の影響もあっての不振が最後まで響きました。2026 年度に向けてさらに廃番が相次ぐので 2025 年度中の早めに切り替えできるように取り組んでいきます。また市場では PFAS ﾌﾘｰ製品の関心もありますので関連製品の販売にも注力して取り組んでいきます。
環境配慮型　新規登録品の売上向上	技術研究所 潤滑油グループ	１７１．８％	2023 年度からの取り組みを比較的早期のタイミングで計上できたこと、また自動車用潤滑油と金属加工油にて年間売上 100 万円を超える案件を複数(7 商品)計上できたことが目標達成要因だと考えます。今年度はグリース案件での形状ができない結果となりましたが、取り組みとしては実施していますのでこれを計上することにも努めます。
環境配慮型　新規登録品の売上向上	技術研究所 化成品グループ	１１８．５％	２～３月は順調なスタートを切れましたが５～７月が顧客評価不調で実績を延ばせませんでした。９月以降は水溶性離型剤が商品化され、１０月以降も新規登録が順調に進み、最終的に目標達成することが出来ました。引き続き PFAS ﾌﾘｰ水溶性離型剤の開発に取り組んで参ります。
マニュアル化の有効性の確認 5 件	総務部	１００％	昨年まで行ってきた業務マニュアルの有効性確認を行いましたが､ペーパーレス化に伴いマニュアルを変更する必要が多くなるため ペーパーレス化完了後に再度実施する必要があると感じました。

各部のコメント

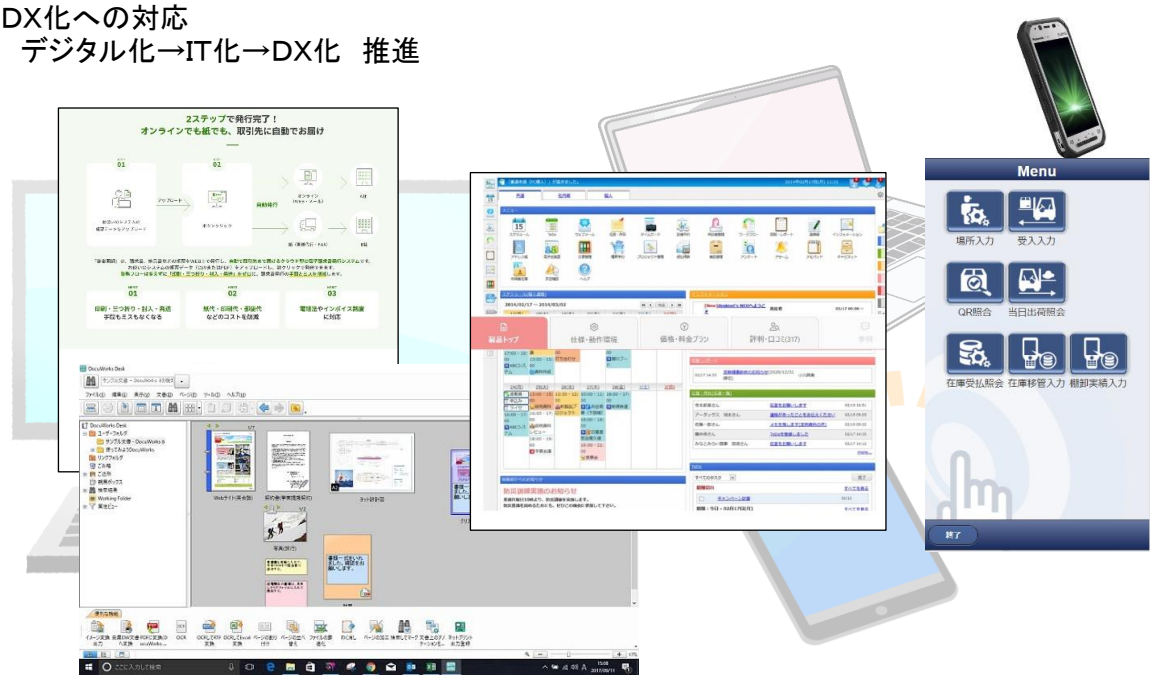
テーマ	部門	達成率（目標対比）	コメント
長期在庫製品の削減 前年比　50%削減	業務購買部	２５．１％	コロナ禍等で需要が激減し、2024 年度中に長期在庫品として大量に計上される製品が散見されたため目標を上げました。目標としたことで処理が進み一定の効果を得たと考えますが、ＯＥＭ製品も対象としたことで最終的には大幅な増加で終了してしまいました。次年度はＯＥＭ製品を中心に削減して参ります。また、長期在庫発生予防のための対策などにも実施します。
翌日製造品の確定　１５時	業務購買部	９９．０％	１年間１５時に設定し活動して９９．０%達成しました。ただし、１５時確定では翌日の原材料・副資材の準備時間が足りず朝から製造に取り組むことが出来ませんでした。１３時に確定させることで生産量の増加を図れることを認識しました。次年度は１３時までに再設定して引き続き活動を継続していきます。
不良品流出０件【製造部起因】	製造部	０件	日々顧客の要求が高まる中で、様々な事案に対し柔軟に対応できたことと、部員の不良品流出に対する意識向上や後工程となる品質保証部や業務購買部の支援があり目標達成に繋がったと考えております。また、年初に計画にない設備投資や品質維持・向上のため多くの消耗品を購入させていただきましたことも大きく影響していると考えております。
調整件数の削減【製造部起因以外】	品質保証部	５１．７％	２～４月と１１月以降の寒い時期に多く調整が発生している傾向にあります。（研究所での試作時には問題なくとも気温の低い現場での製造で析出などが発生する。）また、担当者変更後に頻発しており、４Ｍ変更が品質に大きく影響を及ぼすことが再認識できる結果となりました。
電気使用量の削減	品質保証部	８４．０％	今年度はＬＯＴ当たりの電気使用量が非常に多い年でした。電気使用量の総量が 104.8%程度に増加しているなか、生産ＬＯＴ数は 88.1%に減少してしまったのが大きな要因です。 引き続き不要な電気使用の削減やデマンドコントロールなどを実施し電気使用量の増加を最小限に留めるよう努めて参ります。

中京化成工業株式会社

品質・環境への各種取り組み

DX化への対応

デジタル化→IT化→DX化　推進



製造効率の向上

エアー撹拌機、原料汲み上げ設備

顧客要求の実現のための試作室
　高圧ホモジナイザー　１台
　高圧ホモミキサー　　２台
　コンプレッサー　　１台

緊急事態対策
　非常呼集訓練、消火訓練、防災教育

中京化成工業株式会社

ＣＫＫ　CHUKYO KASEI KOGYO CO.,LTD.

ＩＳＯ９００１：２０１５　（ＪＱＡ－ＱＭ３９８４）

ＩＳＯ１４００１：２０１５（ＪＱＡ－ＥＭ４０８１）

〒448-0008

愛知県刈谷市今岡町西吹戸 10-1

TEL: (0566)36-3690（代表）

FAX: (0566)36-6156

URL: http://www.c-k-k.co.jp

10-1, Nishifukido, Imaoka-cho

Kariya-City, Aichi-Pref., JAPAN

TEL: 0566-36-3690(General Line)

FAX: 0566-36-6156